

# 平成25年温室植物の開花結実記録

磯部 実・高井敦雄・西澤永恵

## はじめに

大温室やサボテン温室において昨年に引き続き、初めて開花したものや数年ぶりに開花結実したものについて記載する。

## ミダレユキ

### *Agave filifera*

今回開花した株はサボテン温室の正面入り口傍の屋外花壇に開園当初から植栽展示されている株である。なお、昨年は同じ花壇内横のフキアゲが開花した。

平成25年5月中旬より1花序が抽苔をはじめ、6月下旬に3メートルまで花序が伸び開花が確認され、7月上旬までの約3週間開花が見られた(写真1、2参照)。

本種の開花は、これまで温室内に植栽展示した株が2回(1986年、1995年)、屋外花壇に植栽展示した株が1回(2002年)開花した記録があり、今回で4回目の開花であった。

## キソウテンガイ

### *Welwitschia mirabilis*

サボテン温室では平成24年3月に新しく導入した約30年生の株が花を咲かせようた。本園における本種としては開園以来2回目の開花であるが、第1回目開花は1997年で雄花(雄株)であったが開花数年後残念ながら枯死してしまった。

新しく導入した株は平成25年5月上旬から蕾(花序)が抽台をはじめ、7月から8月に2個の松かさにも似た球状花穂の陵の鱗片割れ目から5mmの線状毛が見られた。12月には球状花までの高さ50cm、直径2.5cmに成長し花穂の形から雌花(雌株)であると断定でき、夏に線状毛とみられたものは雌しべであった。(写真3、4参照)。

## ココヤシの2年連続の結実

### *Cocos nucifera*

昨年(平成24年)の栽培記録には7年ぶりに2回目の結実(2果)をしたので報告したが、本年(平成25年)は12月現在3果着果しており、連続して2年続けて結実したので報告する。

前年夏に開花受粉した3個の幼果は受粉が良好であったようで、途中落下することなく、緑色であるが前年のものと同じくらいの大きさに成長肥大している。2年続けての結実なのでこのまま毎年安定して結実してくれば多くの入園者に楽しんでもらえると思っている。そして昨年報告した3年目の果実2個は、茶色に変色し1果は夏に落下したが、残りの1果は現在まで落ちていない(写真5参照)。

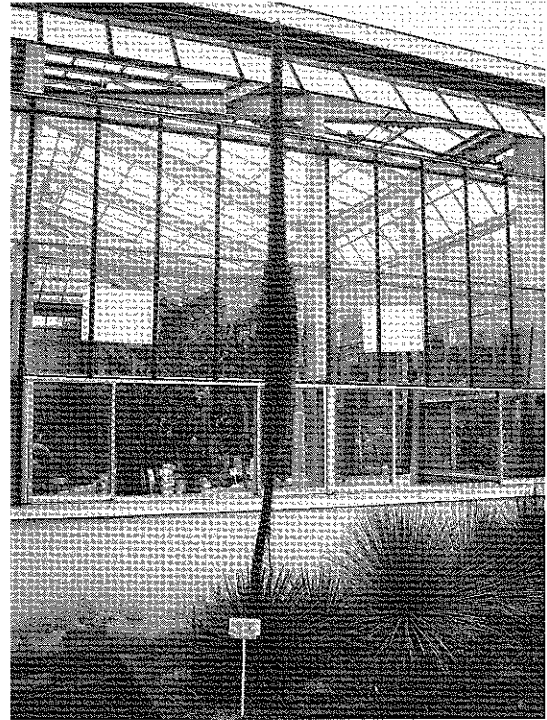


写真1. 花序を伸ばしたミダレユキ(6月下旬)

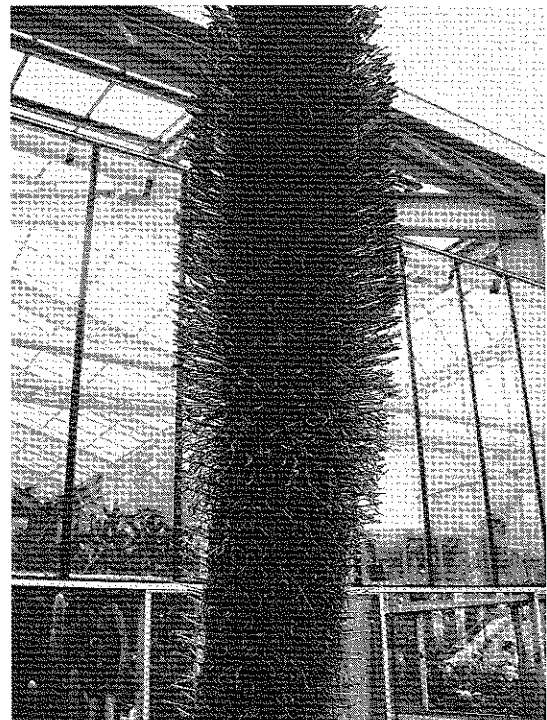


写真2. ミダレユキの花序(6月下旬)



写真3. キソウテンガイの花穂

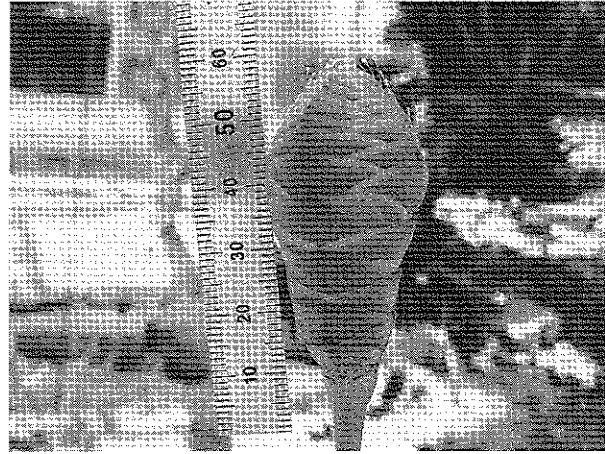


写真4. キソウテンガイの雌花の雌しべ



写真5. 2年連続で果実をつけたココヤシ